就労状

造船部	三一九五	
造機部	一九〇二	
製罐部	一一〇六	
造兵部	六五	
建築部	六五	
計	四九五四	前日ニ比シ 三二増
兵器分工場	一一一七	前日ニ比シ 一〇増
貴金分工場	八〇六	前日ニ比シ 一三減

工事 本社造船原因職工ヲ除ク外一般的ニ精
至ル所口 々精励シタルガ如キ是レ産報国ノ組織カ現ハレ

テ言ヘバ力アリタルモノヽ如ク印象ヲ至識国ハ第一工場
内ニ於ケル秩序維持ニ力メ不穏ノ言動アル者ニ
対シ厳重ニ取締ル事第三工場外ニ於テモ亦
ニ共助ノ道ヲ講ズル事又復業ヲ希望シ来タラ
他ノ自適室ニ依ラズ出勤シ得ザル人々ノ為送ニ出勤
シ得ル様其ノ方法手段ヲ講ズル事第三各部
ニ於ケル仕事ハ従前張リ国ノ歩調ヲ整ヘ為全力
ヲ尽ス事等ノ職工ノ団結ヲ促シ更ニ別紙宣言書
ヲ印刷各職工ニ配付シ会員ノ増加ト勢力ハ
扶殖ニ努力シツヽアルモ就業職工中大数ノ不
積成者アルニ至リテハ外部ニ於ケル罷業団ノ言
論戦印刷物ノ配付、戸別訪問等稍優
勢ナル為彼等ノ行動ニ畏怖シ自然出勤者